更生保護なめりかわ

第 20 号
令和６年３月31日発行
発行・編集
滑川地区更生保護サポートセンター
滑川地区保護司会

「更生保護なめりかわ」は、発刊20号を迎えました。感謝の気持ちを込めて、本号をお届けします。

滑川地区更生保護サポートセンターが移転しました。

新サポートセンター

荷物到着

開所式

引っ越し作業

- ●新住所　滑川市田中町１３２　滑川商工会議所内
- ○駐在員　保護司１名以上常駐
- ○開所時間　午前10時～午後４時
- ○閉所日　土・日・祝日・年末年始　他
- ○電話番号　０７６－４７６－２６９０

滑川地区保護司会
私たちが保護司です

会長　早川　祐一（西地区）
協力組織部会長
副会長　岩城　武志（北加積）
総務部会長
副会長　吉田　康子（東地区）
広報部会長
理事　髙橋　眞琴（北加積）
地域活動部会長
理事　髙井　豊峰（東地区）
研修部会長
理事　廣瀬　節子（東地区）
学校部会長
理事　蜷川　稔（西地区）
監事　岩山　久雄（早月加積）
監事　金川　充（東加積）
松井慎一郎（東地区）
阿波加幹雄（山加積）
二口　雅子（浜加積）
川崎　令子（中加積）
八倉巻あけみ（早月加積）
坂口　司（早月加積）
青山　幸生（西加積）
向山　友子（西地区）
石倉　裕子（西加積）

第73回 〝社会を明るくする運動〟

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

〝社会を明るくする運動〟は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。滑川市推進委員会では、今年度も7月の強調月間を中心に様々な活動を展開しました。

オープニングセレモニー

6月30日、滑川市民交流プラザにおいてオープニングセレモニーが開催されました。内閣総理大臣および富山県知事メッセージを伝達後、滑川市推進委員長の水野達夫市長の挨拶、大門良輔県議会議員の祝辞がありました。また、第59回県中学生生活体験発表大会に先立ち、滑川市代表の滑川中学校3年中嶋悠さんが、「ルールを守ることの意義」を発表し、上田良美教育長から激励の言葉が贈られました。当保護司会より今年度も〝社会を明るくする運動〟のクリアファイルを市内の小学6年生・中学3年生へ贈呈しました。私たち保護司は、更に犯罪のない地域づくりに努めていくことを確認し、心新たにしました。

県中学生生活体験発表会

社会を明るくする運動富山県推進委員会主催の第59回県中学生生活体験発表大会が7月1日、富山市のタワー111スカイホールで開催されました。大会には県内各地の代表16人が参加、滑川中学校3年中嶋悠（はるか）さんが「ルールを守ることの意義」と題して発表し、富山県知事賞に輝きました。

中嶋さんは、生徒会で校則改正に取組んだ体験から「自分たちで作ったルールは自分たちで守っていこう」という意識を強く持つようになったことを紹介。また、楽しく明るい社会を作るためにはルールを守っていくことが大切だと訴えました。

中学生との対話集会

違いを認め尊重し合おう～中学生と保護司らで議論

7月25日、市民交流プラザにおいて、恒例の「中学生との対話集会」を開催しました。今回は滑川・早月両中学校の生徒代表や保護司会・更生保護女性会・協力雇用主会員など約60名が「多様性や違いを認め合う社会」をテーマに議論し、周囲の意見を否定せず、尊重し合うことの大切さ、を考えました。NPO法人ハッピーウーマンプロジェクトの小林涼子理事が講師となり、身近な差別や思い込み、差別が起こる背景、解決策などを、8グループに分かれて、意見交換をしました。各グループの発表では「外国籍の人への偏見をなくすにはお互いの宗教や文化を知ることが大切」「周りの意見を否定せず、お互いに尊重し合いたい」といった意見が出ました。

創刊号から振り返る「更生保護なめりかわ」

【創刊号】平成17年3月31日発行
- 「発刊のことば」「創刊によせて」「発刊を祝して」
- 第54回目を迎えた滑川地区社会を明るくする運動（街頭一斉広報活動、中学生との対話集会　他）
- 社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
- ひまわりコーナー、各種研修報告
- 先輩を訪ねて、保護司の動静

【第2号】平成18年3月31日発行
- 保護司への期待、保護司組織の活性化
- 社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
- ひまわりコーナー、保護司の動静
- 先輩を訪ねて

【第3号】平成19年3月31日発行
- 保護司への期待、保護司会活動の課題
- 社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
- 富山県シンポジュウム.in滑川を振り返って
- 県中学生生活体験発表大会、社会を明るくする運動 作文コンテスト
- ひまわりコーナー、保護司の動静
- 先輩を訪ねて

【第4号】平成20年3月31日発行
- 地域における連携について、保護司会活動に望む
- 県中学生生活体験発表大会、社会を明るくする運動 作文コンテスト
- ひまわりコーナー、保護司の動静
- 先輩を訪ねて

【第5号】平成21年3月31日発行
- 保護司会活動への期待、保護司会活動

●参加した中学生のアンケートより

今日は、多様性について学ぶことができました。色々な世代の方と話したことで、沢山の意見や考えを聞くことができました。ＳＤＧｓの５番 ジェンダーレス、男女差別をなくすためには、人の意見を尊重し合うことが大切だと思いました。中学校生活では今日学んだことを活かし、人の意見を受け入れ尊重し、誰も傷つかないように工夫したいです。

今日は意見交換が沢山出来てよかったです。自分にない考えがたくさん聞けておもしろかったです。昔の風潮に流されず、自分で選択することが大切だと分かりました。女性だから…、男性だから…という発言をなくしていけたら良いなと考えました。周囲の人についてまず知ること。そして考えを尊重することを、これからは心がけたいと感じました。地域の方々の話には、なるほどと思えるものがたくさんあって興味深かったです。

今回、保護司や地域、滑川中学校の方々との対話を通して、この日本という国はまだまだ変わっていく必要があるな、と感じました。表面上良くなってきていると言われていますが、中を見ると古くからの習慣などによって根付いてしまっている女性差別や、最近多く出てきているＬＧＢＴの方々への理解などが十分に行われていないのでないかと思いました。特にＬＧＢＴの方のことに関しては、すぐ身近にもそのような方はいると思います。リーダーとしてそのようなことを意識して接し方などを考えて学校生活を送りたいです。

小中学生作文コンテスト

滑川市推進委員会推薦作品選考

小・中学生の皆さんに、犯罪や非行問題等に関して日頃考えていることや体験したことを作文に書くことで、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。応募していただいた次の作品を滑川市推進委員会で審査し、丸印の応募者作品４点を県推進委員会へ推薦しました。なお、◎印の作品が最優秀賞に選ばれ、全国推進委員会中央コンテストに推薦されました。

ご協力いただいた各校と、児童・生徒の皆さんに紙面を借りてお礼申し上げます。

小学生の部

寺家小学校　６年　畝山　愛生
笑顔の種
６年　米澤　優希
いじめはよくない

田中小学校　４年　赤井理央奈
身近な人から大切に
４年　中嶋　彩乃
「おすそわけ」のある社会
東部小学校　６年　深井　千優
ボランティア活動でつくる明るい未来
６年　畠山　琳
差別のない社会へ
西部小学校　６年○稲垣　光俊
「目配り」「気配り」「心配り」で思いやれる社会
６年　砂原　莉緒
明るい世の中をつくるには
南部小学校　６年◎神田こはる
行事でつながる山加積地区
５年　松井　彩登
人と関わりながら生きていく
北加積小学校　６年　折田　光
あいさつは「まほうの言葉」
６年　辻　楓土
地域に守られて
東加積小学校　６年　木下　明里
誰かの笑顔
６年　山本　紘寧
日々の挨拶で変わる日常

中学生の部

滑川中学校　３年○中嶋　悠
心の中の赤信号
３年　佐藤　季来
つながり
早月中学校　３年　石川　彩音
犯罪をおこさせないために
３年○田畑　蒼空
いじめのない学校にするために

に望む
●中学生との対話集会
●県中学生生活体験発表大会、社会を明るくする運動 作文コンテスト
●ひまわりコーナー、創立50周年特別記念講演（特別講師　桂才賀 師匠）
●先輩を訪ねて、保護司の動静

【第６号】平成22年３月31日発行
●地域と歩む更生保護
●第59回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、街頭広報活動）
●県中学生生活体験発表大会、社会を明るくする運動 作文コンテスト
●ひまわりコーナー、保護司の動静
●先輩を訪ねて、自主研修報告

【第７号】平成23年３月31日発行
●第60回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、街頭広報活動）
●社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
●ひまわりコーナー、保護司の異動
●先輩を訪ねて、自主研修報告

【第８号】平成24年３月31日発行
●県内初 更生保護サポートセンター開所更生保護活動の充実誓う
●更生保護協力雇用主会の設立
●第61回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、街頭広報活動）
●社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
●ひまわりコーナー、保護司の目
●被災地でのボランティア活動に参加して、保護司の異動

【第９号】平成25年３月31日発行
●第62回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
●社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
●ひまわりコーナー、保護司の異動

「ダメ！ゼッタイ！」
～断る勇気が未来をつくる～
北加積小学校で薬物乱用防止教室

同小学校での開催は、今年度で10年目となり、6年生32人にオーバードーズや覚せい剤、違法薬物の恐ろしさを伝えました。児童にも分かり易い内容のビデオを利用し、また○×クイズで児童全員に答えてもらうことで、1回の使用でも乱用で犯罪になることや依存性など、薬物乱用防止に対する正しい知識を身に付けてもらえたと思います。最後に、全員で「薬物乱用はダメ！ゼッタイ！」を3回唱和して、薬物に関わらないことを誓いました。薬物乱用防止は、普段から関心を持って対処することが大切であり、私達の身近な地域から薬物乱用を許さない社会環境を作っていく必要があります。

薬物乱用防止教室を終えて、皆さんに感じたことを書いてもらいました。

きょう話を聞いて、薬物はとても危険だなと改めて思いました。薬物乱用防止と言う言葉は聞いたが、とてもわかりやすかったです。ゲームをやればやるほど脳がとけるのと一緒で、薬物が脳をこわしてしまう」ということを聞いてビックリしました。1回でもやったら止まらないと、すごくこわかったです。薬物乱用は「ダメ！ゼッタイ！」と言うことが良くわかりました。なので薬物はゼッタイしません。お父さん、お母さんからもらった大切な命を、大切に使っていこうと思います。

ぼくは薬物乱用についてあまり興味がなかったけど、滑川地区保護司会の人の話を聞いて、薬物乱用をすることはとてもあぶなくて、自分の人生をこわしてしまうことがとても怖かったです。1回使っただけでも薬物乱用になり、依存してしまうのが一番怖かったです。これから中学校に入りますが、知らない人に薬物について聞かれても、勇気をもって断ることができればいいと思いました。薬物乱用は「ダメ！ゼッタイ！」

私はこの教室で、薬物乱用のおそろしさを知りました。本来、薬とは健康な状態になるのを助けるものですが、薬物を乱用すると、オーバードーズになったり、私たちの脳をはかいしたりします。一度壊された脳は、元にはもどらないそうです。薬物に手を出してしまうと依存症になり、犯罪を起こしてしまいます。後悔するのは自分ですが、周りにめいわくをかけてしまうことになるので、絶対に手を出してほしくないし、手を出したくないです。大切なことは★自分を大切にする。★自分に自信を持つ。★断れる勇気を持つ。この3つだと教えてもらいました。この教室で教えてもらったことをいかして、乱用をしないようにしたいです。

滑川地区協力雇用主会主催の講演会を開催
～子どもたちの性に向き合う～

滑川地区協力雇用主会（原明 会長）は9月3日、西地区コミュニティホールにおいて、保護司会、更生保護女性会との共催により、子どもの性にかかわる講演会を開催しました。講師は、女性クリニックWe! TOYAMA代表で産婦人科医の種部恭子富山県議会議員に務めていただきました。14歳以下の出産や、親が乳児を遺棄したり虐待したりする背景には、助けを求めるサインが気付かれず、誰にも相談できなかったことがある、とのこと。非行や犯罪をした人を雇用する企業や、立ち直りを見守り支えていく保護司などの存在が必要で、「地域社会で受け止めてあげる、あたたかい心が大切」と話されました。

終了後に種部先生と参加者全員で記念撮影

【第10号】平成26年3月31日発行
- 第63回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
- 県中学生生活体験発表大会、社会を明るくする運動 作文コンテスト
- 犯罪予防・広報活動の推進、各種研修の実施
- サポートセンター便り、保護司の異動

【第11号】平成27年3月31日発行
- 第64回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
- 社会を明るくする運動 作文コンテスト、県更生保護フェアin中新川
- 犯罪予防活動の推進、各種研修実施
- 市内小学校で薬物乱用防止教室を開催
- 保護司の異動等

【第12号】平成28年3月31日発行
- 第65回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
- 社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
- 各専門部会の主な事業・活動（総務・研修・地域活動・協力組織・学校 各部会）
- 保護司の異動等

【第13号】平成29年3月31日発行
- 第66回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
- 社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
- 薬物乱用防止市民講演会および市内小学校での薬物乱用防止教室を開催
- 保護司の異動、各種研修の実施 等

【第14号】平成30年3月31日発行
- 特集1 第48回県更生保護大会を開催
- 特集2 第67回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
- 県中学生生活体験発表大会、社会を明るくする運動 作文コンテスト

【写真で振り返るこの１年】

令和５年６月下旬
“社会を明るくする運動”のぼり旗設置

令和５年６月２０日
富山ダルク訪問

令和５年４月２４日
令和５年度定期総会

令和５年７月２５日
中学生との対話集会より
水野市長の挨拶

令和５年６月３０日
同セレモニー
内閣総理大臣メッセージを水野市長へ伝達

令和５年６月３０日
“社会を明るくする運動”オープニングセレモニー
開会挨拶中の水野滑川市推進委員長（市長）

令和５年７月２５日
中学生との対話集会 全員で記念撮影

令和５年７月２５日
中学生との対話集会より

令和５年７月２５日
中学生との対話集会より

令和６年２月１日
協力雇用主会研修会

令和６年１月１６日
協力雇用主会第２回理事会

令和５年９月３日
協力雇用主会主催講演会 種部先生

●保護司の異動、各種研修の実施 等

【第15号】平成31年３月31日発行

●特集１ 県更生保護フェアin滑川を開催
●特集２ 第68回社会を明るくする運動「県中学生生活体験発表大会、作文コンテスト（青木さんに全国優秀賞）、中学生との対話集会」
●各種研修の実施、薬物乱用防止教室の開催 等

【第16号】令和２年３月31日発行

●滑川地区保護司会は創立60周年を迎えました
●第69回社会を明るくする運動（中学生との対話集会、作文コンテスト）
●北加積小学校で薬物乱用防止教室
●滑川市更生保護女性会だより
●初の県東部地区保護司会の合同研修会・交流会を開催

【第17号】令和３年３月31日発行

●保護司はこんな活動もしています
●社会を明るくする運動 作文コンテスト
●北加積小学校で薬物乱用防止教室
●滑川市更生保護女性会だより

【第18号】令和４年３月31日発行

●第71回社会を明るくする運動（中学生との対話集会、作文コンテスト）
●北加積小学校で薬物乱用防止教室
●保護司の視点（各部会長）、各種研修等の実施
●滑川市更生保護女性会だより

【第19号】令和５年３月31日発行

●第72回社会を明るくする運動（オープニングセレモニー、中学生との対話集会）
●社会を明るくする運動 作文コンテスト、県中学生生活体験発表大会
●研修・意見交換会等の実施
●北加積小学校で薬物乱用防止教室
●滑川市更生保護女性会だより
●社会を明るくする運動とは、保護司の異動

滑川市更生保護女性会だより

一人ひとりが人として尊重され社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる、明るい社会を作りましょう。（更女会　綱領）

≪ご挨拶≫　会長　浦田節子

更女会の皆様 こんにちは。“みんなの集い”いかがでしたか？
今年も子育て支援、ミニ集会、養得園夕食奉仕配膳、社会を明るくする運動、日帰り研修等を楽しく更生保護に励みましょう。
令和６年度も笑顔で活動を！

令和５年度の行事

- ◆総会（4月）
- ◆資源回収（3月・9月）
- ◆保護司会との合同研修会（6月）
- ◆そうめん販売（6月）
- ◆中学生との対話集会（7月）
- ◆中部地方更生保護女性の集い（9月）
- ◆みんなの集い（10月）
- ◆サポートセンター移転祝賀会（11月）
- ◆養得園夕食奉仕（12・1・3月）
- ◆みんなの集い（3月）

【令和５年度役員】

顧　問	池田　悦子
会　長	浦田　節子
副会長	上田　君子
〃	谷　純子
書　記	長森由美子
会　計	萩原　弘美
監　査	山下美恵子
〃	石倉ミツ子

＜各地区代表役員・会員数＞

第３分団	萩原　弘美	４名
第４分団	大田　美利	１３名
浜加積地区	二口　雅子	３名
北加積地区	岩城　秀子	２２名
東加積地区	谷　純子	６名
早月加積地区	石場　弘子	３６名
中加積地区	安本　栄子	３名
西加積地区	砂原富美子	７名
	計	９４名

養得園夕食奉仕

中部地方更生保護女性の集い

中部地方更生保護女性の集い

資源回収

子育て支援活動

子育て支援活動

みんなの集い

保護司の異動

令和５年12月20日付
○退任
稲垣　槙子（西加積地区）

令和５年度　受彰者

◆法務大臣感謝状
（更生保護女性会）
浦田　節子

◆全国保護司連盟理事長表彰
岩城　武志

◆富山県知事表彰
二口　雅子

◆中部地方更生保護委員会委員長表彰
阿波加　幹雄

◆中部地方更生保護女性連盟会長表彰
長森　由美子

◆富山保護観察所長表彰
金川　充
蜷川　稔

◆富山保護観察所長感謝状
（勤続十年保護司）
阿波加　幹雄
松井　慎一郎
（更生保護女性会）
石倉　ミツ子

◆富山県保護司会連合会長表彰
八倉巻あけみ

◇滑川市社会福祉協議会長表彰
阿波加　幹雄
松井　慎一郎

（題字　阿波加蒼岳）